（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立東住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和６年４月１日～令和16年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.1%
達成率		105.1%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.8%	96.9%	1.9%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.1%	94.0%	5.1%

利用状況（多目的１）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	56.0%	49.1%	6.9%

利用状況（多目的２・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	37,996,300	37,704,268	0	計画通りでした
	計画	37,996,300	37,704,268		
利用料金（使用料）収入	実績	7,679,520	7,037,060	-1,321,980	１体、２体、多目的室すべての稼働率が上がった為前年よりも実績は上がっております
	計画	9,001,500	9,001,500		
自主事業収入	実績	11,397,879	12,053,752	1,395,879	月曜休館に伴い、前年度より下がりましたが計画に対してはクリアしております
	計画	10,002,000	9,972,000		
その他収入	実績	720	1,590	720	コピー代収入でしたので今年度は予算化しませんでした
	計画	0	30,000		
合計	実績	57,074,419	56,796,670	74,619	
	計画	56,999,800	56,707,768		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,634,534	13,641,969	-5,165,066	業務効率を考え業務にあたった事により、計画よりマイナスすることができました。引き続き効率的な営業を行ってまいります。
	計画	17,799,600	17,550,000		
物件費	実績	16,757,710	19,658,611	-3,973,618	水道光熱費など無駄の削減を行い計画より下げることができました
	計画	20,731,328	21,027,200		
修繕費	実績	755,700	1,078,891	-844,300	経年劣化による修繕も増えてきておりますが、巡回点検により予防保全を行い、不具合箇所の早期発見により修繕費を抑制しています。
	計画	1,600,000	1,304,128		
自主事業支出	実績	5,825,910	5,207,885	-4,330,231	月曜休館に伴い、他の曜日に自主事業を４教室増やしたことにより、指導員費用が前年よりは増加しました。
	計画	10,156,141	10,156,141		
その他支出	実績	16,759,698	11,931,096	10,046,967	社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員の増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	6,712,731	6,670,300		
合計	実績	52,733,552	51,518,452	-4,266,248	
	計画	56,999,800	56,707,769		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.1%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・水道光熱費削減の取り組み 　冷暖房を一気につけずエアコンに急激な負荷をかけないことに留意。 　館内空調の温度調整および運転時間調整を実施。 　各所のこまめな電源ＯＮ/ＯＦＦを実施。 ・館内整備や備品修理等スタッフによる改修や改善の取り組みを行いました。	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5　利用者ニーズ・満足度等

・スタッフが明るく元気で対応が良い。
・雨の日にタオルを準備してくれる。
・体育場、スタジオのフロアがきれいで清潔。照明が明るく広くて使いやすい。
・床のコンディションが良い。
・洋式トイレ及びウォシュレットが少ない。
・施設裏にあるコインパーキングが満車になる事が多く不便。
・更衣室のロッカーが古く、お金がかえってこない事がある。

6　外部専門家意見

利用者満足度は目標を達成しているものの、前年度比で10ポイント低下していることから、その要因を分析し、利用者意見の把握と改善の優先順位付けを行い、満足度の回復・維持に努められたい。一方で、利用者ニーズや満足度に関する報告内容からは、単にサービスを提供するだけでなく、利用者に寄り添ったホスピタリティの提供を意識した取り組みもみられ、この点は評価できる。今後は、満足度の低下がどのような点から生じているのかを具体的に把握し、そのうち運営上の工夫や随時の対応によって改善可能な点について、着実に改善につなげていただきたい。

もともと高い水準にある稼働率が前年度比でもさらに向上しているものの、利用料金収入は依然として計画値を下回っている。特に、多目的室についてはさらなる利用機会の創出が可能であると考えられる。既存利用者の利用拡大に加え、例えばカルチャー教室などスポーツ以外の事業の実施・誘致も含め、これまで施設との関わりが少なかった層の利用や潜在的な利用者の掘り起こしにつながるような利用促進策を検討されたい。

また、施設運営上の制約に対応しながら、教室編成を柔軟に見直し、収入確保につなげた取り組みは、民間事業者のノウハウを活かした工夫の一つと考えられ評価できる。

収支については、収入が計画を上回り、人件費や物価の高騰が続く中にあっても支出が計画よりも削減できている点は経営努力の結果であり評価できる。次年度も引き続き管理費の縮減に取り組んでいただき、健全な施設運営を継続していただきたい。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立西屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和６年４月１日～令和16年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.0%
達成率		107.5%

２　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94.0%
達成率		117.5%

２　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	65,379	63,292	2,087
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	28,680	26,333	2,347
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	-	-	-
稼働率			

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	70,049,981	68,114,068	0	計画通りでした。
	計画	70,049,981	68,114,068		
利用料金（使用料）収入	実績	34,490,860	35,141,890	-12,409,140	安定した経営を行うため、教室事業に軸足を置いたため、計画より下回りました。
	計画	46,900,000	46,900,000		
自主事業収入	実績	64,079,810	50,939,662	27,873,810	事業収入が子ども水泳教室の定員拡大に伴い、大幅に計画より超過しました。
	計画	36,206,000	36,206,000		
その他収入	実績	0	0	0	計画通りでした。
	計画	0	0		
合計	実績	168,620,651	154,195,620	15,464,670	
	計画	153,155,981	151,220,068		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	45,094,130	39,688,187	-22,138,944	非常勤職員の比率を上げ、常勤職員の業務効率化を図りました。さらにアルバイト職員のセクション兼務により計画り下回りました。
	計画	67,233,074	65,382,000		
物件費	実績	53,254,131	59,330,224	-121,202	子ども水泳教室増員を図る広告宣伝費を計画以上に投資しため、計画より超過しました。
	計画	53,375,333	53,375,333		
修繕費	実績	6,913,060	7,330,961	-3,537,510	工事業者の選定、価格交渉により契約に対して減額できました。
	計画	10,450,570	10,450,570		
自主事業支出	実績	6,501,902	9,314,570	1,403,818	子ども水泳教室の定員拡大により指導員数も増えたため、計画より超過しました。
	計画	5,098,084	5,098,084		
その他支出	実績	45,724,512	33,916,846	28,725,592	租税公課、リース費、社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	16,998,920	16,914,081		
合計	実績	157,487,735	149,580,788	4,331,754	
	計画	153,155,981	151,220,068		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	107.5%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	117.5%	A	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・ボイラー及び空調の使用時間調整を実施しました。 ・水質管理の徹底によるプール逆洗回数の削減を実施しました。 ・内部書類は使用（印刷）済み用紙の再利用を徹底しました。 ・自社スタッフによる修繕及びメンテナンスを実施しました。 ・節水システムの費用対効果を測定し、一部撤廃することで、保守管理費の削減を実施しました。 ・参加者の少ない不採算事業を閉鎖し、人件費の抑制を実施しました。 ・冬季の休館日前の閉館時にプールマットを敷き、光熱費削減を実施しました。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

５　利用者ニーズ・満足度等

・ヨガのレッスン参加者増に伴い、ヨガブロックを追加購入しました。
・ロッカー内の清掃頻度を向上し、ホコリやごみの無い状態を維持できるようにしました。
・ご要望に応じ、3ヶ月に1回水着のセールを実施しました。
・2階更衣室前の椅子に教室保護者が滞留することを予防する為、３階に長椅子を増設しました。
・スタッフの頭髪や髪形、アクセサリーに対して、ご意見を頂いたため、スタイルガイドを策定し、施行しました。
・冬場のプール利用において、体温低下予防のため水泳用のオーダーウェットスーツを販売しました。
・参加者増加に伴い、ピラティスの有料レッスンを増設しました。
・子ども水泳教室参加者増加に伴い、月曜日に3コマ増設しました。
・水泳教室において、サービスの均質化を図る為、各コマの対象級と対象年齢を改変しました。
・スタジオ場所取りが問題となったので、設置したストレッチマットから離れないルールを設けました。
・自転車利用者増加に伴い、臨時駐輪場を設置しました。
・館内で快適に過ごしていただく為、有線放送を設置しました。

６　外部専門家意見

利用者数が前年度比で増加していることに加え、利用者満足度についても目標を達成したうえで前年度から向上している点は評価できる。また、利用者からの要望に対して柔軟な対応がなされている点についても、利用者ニーズを踏まえた施設運営として評価できる。来年度以降も高い水準を維持向上させるために、利用者からの苦情に対して迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。

教室事業を強化した結果、利用料金収入は計画を下回ったものの、子ども水泳教室の定員拡大等により自主事業収入が大幅に増加し、収支はプラスを確保している。教室事業は継続的な利用や一定の収入が見込まれる事業でもあり、こうした事業が好調であることは、施設の安定的な運営にも寄与しているものと評価できる。今後も、効果のあった増枠・集客策を継続するとともに、一般利用についても、より幅広い地域住民に施設を利用してもらえるような利用促進策を検討し、利用料金収入の底上げと利用機会の拡大につなげていただきたい。併せて、支出増の内訳を精査し、必要性・効率性の観点から適正化を進めることで、安定的な黒字確保と持続的な施設運営につなげていただきたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	セントラルスポーツグループ 【構成員】 株式会社セントラルスポーツプラザ セントラルスポーツ株式会社
指定期間	令和６年４月１日～令和16年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.1%
達成率		108.9%

２　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.1%
達成率		108.9%

２　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	106,210	94,322	11,888
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	30,500	27,912	2,588
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	59,914,908	58,153,174	140,800	計画通りでした。
	計画	59,774,108	58,153,174		
利用料金（使用料）収入	実績	40,976,110	37,201,955	8,975,810	近隣施設の休館によって利用者が増え、その方々が定期券や回数券等を購入して利用し続けた事が主な理由です。また、スタジオプログラムの更なる充実もトレーニングジム利用料増収につながり
	計画	32,000,300	32,000,300		
自主事業収入	実績	43,828,117	40,104,736	4,554,267	大人の水泳教室が好評で定員になるクラスが多く、それが年度通して安定した事で増収となりました。
	計画	39,273,850	39,273,850		
その他収入	実績	0	0	0	計画通りでした。
	計画	0	0		
合計	実績	144,719,135	135,459,865	13,670,877	
	計画	131,048,258	129,427,324		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	44,138,888	44,898,166	-23,094,186	前年度は指定管理者交代のタイミングでもあり、運営を安定させるために十二分な人員配置があった為、見直し削減しました。
	計画	67,233,074	65,382,000		
物件費	実績	45,457,063	50,717,369	9,386,732	夏場の水温上昇に伴う逆洗回数増やエアコンの稼働率上昇による水道光熱費が大幅に超過した事が費用増加となりました。
	計画	36,070,331	36,570,330		
修繕費	実績	4,929,100	3,243,548	-1,227,478	大きな修繕がなかったことで、計画を下回りました。
	計画	6,156,578	6,156,578		
自主事業支出	実績	6,644,638	4,427,987	2,648,282	教室の増設及びキッズスクールへの参加者、在籍者増の対応によりスタッフの配置を増した事で計画に対しては超過となりました。
	計画	3,996,356	3,996,356		
その他支出	実績	40,935,386	25,671,757	23,343,466	リース費、社内の施設負担経費の上昇(本社地代家賃、本社人員増、新規出店施設開業費分配分)によります。
	計画	17,591,920	17,322,060		
合計	実績	142,105,075	128,958,827	11,056,816	
	計画	131,048,259	129,427,324		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	108.9%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	108.9%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・夏場、冬場のボイラーの使用時間を調整しました。 ・プール濾過ポンプの稼働時間を調整しました。 ・照明時間の調整（時間短縮）しました。 ・館内空調の温度調整および運転時間を調整しました。 ・内部書類は使用（印刷）済み用紙の再利用を徹底しました。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

５　利用者ニーズ・満足度等

・夏場の休館日にシャワールームの床や壁の清掃を毎週実施し、利用者から綺麗になったとお声をいただきました。
・スタジオレッスンの予約方法を変更した事で、予約せずに参加される事を防止し、参加者の満足度が向上しました。
・夏場のプール室温・湿度上昇を防ぐため、施設管理会社と協議し、換気量を増やした事で快適な環境にしました。
・子ども水泳教室用のプールフロアを毎月購入し、古くなって危険性があったプールフロアを廃棄しました。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

６　外部専門家意見

近隣施設の休館に伴う需要を的確に取り込み、利用者数が前年度比で約１割増加した点は評価できる。利用者満足度も前年度に引き続き目標を達成しており、利用者が増加する中でもサービス水準を維持できたことは評価できる。さらに、休館日の施設貸出を活用して高校水泳部の活動を支援するなど、地域の部活動との連携や地域ニーズに柔軟に対応した取り組みについても、地域との接点を広げる施策として評価できる。次年度も、周辺環境や利用動向の変化を適切に捉えながら、利用促進策の定着・拡充を図られたい。そのためにも、利用者からの苦情に対して真摯に受け止め、迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。

収支については、利用者数の増加を背景に利用料金収入が伸長し、大人向け水泳教室も好評で自主事業収入も増加するなど、収入面の取組みは評価できる。今後も受講状況やニーズを把握しながら、必要に応じて増枠や新たな受講機会の創出など、さらなる利用促進につながる取り組みに期待したい。

結果として収支は黒字を確保している一方で、人員配置の見直しによる人件費削減は見られたものの、支出総額は計画を上回っているため、増加要因を費目別に整理・分析し、運営水準を維持しながら計画的なコスト管理を進め、引き続き安定した施設運営につなげていただきたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	B	
総合評価	B	